



歓迎 都市生活者！ 写真：5月31日 株)朝日旅行主催「北限のブナ林ウォーキングツアー」より

新たな観光組織を目指して 【黒松内町観光協会＆ブナ北限の里ツーリズム】

去る6月17日に黒松内町観光協会の通常総会が開催されました。総会の冒頭挨拶で小間憲二会長は「国内における外国人観光客の増加ということが報道でも耳にされますが、道内でもニセコ、洞爺湖圏をはじめ外国人観光客の増加に伴う経済成長が順調に進んでいるようです。しかし、本町はニセコ、洞爺湖の近くにありながら観光における経済波及効果が地域内に伝わってこない。これが私どもの置かれた環境であるように思います。そのため今年度は、地域観光の新たな舵取に向けた組織力の強化を行う年となります。」と述べました。これまで観光協会は、事務局を黒松内町商工会に置き、会員が協会の存続を支えてきました。しかし、今年度からは地域観光開発の強化を図るため専属スタッフを配置し、協会会員、役場、交流実践者等と連携し、組織強化のための体制づくり、事業プランを作成していきます。また、従来の観光協会とグリーンツーリズムの推進組織であるブナ北限の里ツーリズムを一元化し、地域観光のワンストップ窓口としての機能強化を進めて参ります。

さて、平成26年度に北海道を訪問した外国人が初めて150万人を突破しました。しかし、翌年度の北海道経済産業局の調べによると、北海道における観光の経済波及効果は、その観光知名度や来道客数に比較し低水準に留まっているという調査結果がでました。この要因は、観光客の属性に起因すると考えられ、以下のように分析されました。①アジアからの旅行者のみならず旅行日数の長い欧米観光客の不足 ②富裕層を受け入れる国際的な高級ホテルの不足 ③個人旅行者に向けた対応の遅れ ④魅力的・高付加価値なサービスや土産品等の不足など の課題を挙げています。本町は、ニセコ、洞爺湖、富良野のような観光地とは異なります。また、都市と田舎の交流という取組みで観光化を回避した観光地域づくりを実践してきました。しかし、ニセコ、洞爺湖、函館など海外からの個人旅行者が回遊する道南・道央観光圏に属する黒松内の観光資源の強みを熟考すると、上記の分析結果の中には観光地でない本町にも関連性を持つ課題も含まれています。なぜなら、外国人旅行者が北海道のファンとなり、リピーターになると観光地ではない地域で地元の人が誇る場所、食べ物、アクティビティ等を体験する充実した旅行プランを探し求めるからです。(観光協会・本間)

B2

ニュースレター

2016/7/10

～7月のオススメイベント～

30・31日 ビーフ天国まると黒松内

山に登れば気分爽快

お化けトンネル 文：ノースランド 辻野健治

そのトンネルに心霊現象は起きるのか？ブナの森に住む登山ガイド・辻野健治氏が妖怪ウォッチ&ウォークに挑む

ページ 2

黒松内余適 文：黒松内山道の会 北村 英芳

-石川啄木が乗った汽車が稲穂峠でひとやすみ？- 昨年まで好評だった「黒松内山道こぼればなし」、今年も北村氏が隠された黒松内史を紹介していく。

ページ 3

ブナ里少年期紹介 安藤昭さん

ページ 4

今年2月、瑞宝単光章を受章した白井川在住の安藤昭さん(88歳)に少年期の思い出や旧熱郷村での暮らしについて伺った。「熱郷神社、熱郷郵便局、熱郷駅、、、今となっては熱郷という地名が残る建物がいづぶん減ったもんだねー」。



Bunasato Farm に農園名変更

赤井川地区の体験農園がリフレッシュ



～山に登れば気分爽快～

その四「お化けトンネル」 秘境というか鉄道遺産ですね？ 文・写真 ノースランド 辻野健治

こんにちは～ ブナの森登山ガイドの辻野です。
今回は、秘境～というか、知る人ぞ知る「靈感スポット」の話をします。
黒松内町内のJR函館線には、トンネルが数カ所ありますが、そのうちのひとつ旧黒松内トンネルは通称「お化けトンネル」と言われ、以外にも市街地からさほど遠くないところにあります。お化けトンネルの名は、各地でよく使われていますが、本当にお化けがでるところ？ だったり、ただ単に気持ちが悪い程度で名がついた所や・・・まあ、ここのトンネルは、雰囲気が悪い・・・ので、ただ単に気持ちが悪いから、この名をいただいたのでしょう。
お化けトンネルは、ブナの小路に行く道をさらに進み、下り坂が終わった辺りの右側に現れます。このトンネルは、老朽化したトンネルを新トンネルに作り直したことで使われなくなったトンネルのようですが、どう見ても古い作りです。よく見るとトンネル壁は煉瓦積みで部分的に崩れています。ところが、普通ならこのような危険な物は、塞がり、立ち入り防止柵をつけるもの・・・それらが此处にはない。。。何故だろう？



このトンネルに入ると抗口の明かりを目指して、黙々と歩き続けてしまう。そして、決して振り向かないようにしたい。もし 振り向いたら・・・魔物がでてる。。。のでは？ といった心理状態になってしまう。しかし、これが、なんだかブルッと気が引き締まる感じで意外といいですよ。この感覚は？ 人はこれを靈感スポットと呼ぶのでしょうか？ いやいや、ここは違います。でも この何とも言えない感覚を味わいに、今日も又抗口に向け、さまよい歩き続けます・・・。

FOOD

イカ墨ラーメン冷やし中華 歌才自然の家レストラン横里花

「はてさて、暑い夏はやってくるのだろうか？」そんな不安を抱きながら 7 月を迎えた。。
では、夏を思いっきりイメージすべく、今回は歌才自然の家レストラン横里花(キリカ)のイカ墨ラーメン冷やし中華をご紹介します。暑い日に食べたい料理の一つに「冷やし中華」があるのだが、冷やし中華についてネット検索してみると、冷やし中華は日本生まれの料理であった。その誕生には諸説あるそうだが、もっとも有力な説は、昭和 12 年に宮城県仙台市青葉区にある「龍亭」の店主だった四倉義雄さんが考案した冷やし中華麺が元祖という説だ。暑い日本の夏は、ラーメン(熱い)の売り上げが落ち込むため、地元の仙台支那料理協同組合の方々が夏でも人気の落ちない中華料理の考案に挑み、日本の伝統食である蕎麦をモデルに試行錯誤を重ね、四倉さんが鶏ガラスープ、醤油、酢を使ったタレ、チャーシュー、キュウリ、キャベツなどを具にした冷たい中華麺を開発した。これが、冷やし中華のはじまりだと考えられている。そして、冷やし中華が全国的に広まるのは戦後になってから、昭和 21 年に東京神田の神保町にある「揚子江菜館」に「五色涼拌麺」というメニューが登場、これが現在の冷やし中華のモデルとなっている。さて、横里花が提供する冷やし中華だが、黒松内の「黒」にこだわったイカ墨麺、厚焼き卵、肉みそ、季節の野菜、トワ・ヴェール製ハムなど、他ではあまりお目にかかれないトッピングを加え、大谷シェフが黒松内風冷やし中華を考案した。

イカ墨ラーメン冷やし中華 @870 円

★夏限定で販売



EVENT July

ビーフ天国まると黒松内 2016



7 月 30 日(土) 前夜祭 17:00～ 31 日(日) 本祭 9:00～ スタートします。今年はパンフレットのデザインもお天気になるように願いを込め、背景をスカイブルーにした仕上がりになっています。晴天になりますように！

【くろまつない余滴】 第1話

—石川啄木の乗った汽車が稲穂峠でひとやすみ？—

文：黒松内山道の会 北村英芳

『真夜中の 倶知安駅に下りゆきし 女の髪の古き痕あと』この詩歌は、石川啄木の歌集「一握の砂（東雲堂／明治43年12月）」に収められた中の一詩で、汽車で後志を通過した際によんだ歌です。石川啄木が初めて北海道に渡ったのは18歳の時で、明治37年（1904年）10月に次姉のとらが嫁いでいた小樽の山本千三郎宅を訪ねています。往路は、まだ小樽まで鉄道が通じていなかったため、函館から小樽までは船の旅でした。啄木は半月ほど山本家に滞在し、小樽函館間の北海道鉄道（※後の国鉄、現在のJR函館本線）が開通した翌々日、10月17日に小樽発の汽車で故郷へ帰ります。義兄が小樽駅の助役を勤めていたことから、当然、鉄道を利用したのでしょう。前述した歌の次の一首に『雨に濡れし夜汽車の窓に映りたる山間の町のともしびの色』があるのですが、内容からすると黒松内を通過した際によんだ歌かもしれません。北海道鉄道が開通して、汽車で黒松内を通過した文学者の第一号は石川啄木と言えます。



雪解けの頃、道道9号線を黒松内から狩場駐車場に向かって車で走ると、黒松内袴線橋を過ぎた辺りの道路右側沿いに古い築堤跡を見ることができます。その築堤跡はいったん右側の沢に下り、狩場駐車場近くなるとV字型の切取跡になって駐車場の南側の深い切取跡とつながります。さらにその先は、道道を横断して左側の築堤跡となり蔵谷駅方向に向かってその築堤跡は続いています。私はこれまで、この築堤跡は明治11年に拡幅改修した「黒松内山道」跡と考えていました。しかしある鉄道関係の本で、この遺構は北海道鉄道の開通当初の線路跡だということを知りました。その本によると、峠越えの運転は急勾配のため大変に難儀し、黒松内側では事故が多発したそうです。そこで、勾配を狩場駐車場附近にある鉄道の遺構をゆるやかにするため、ルートを変更してトンネルを掘ることに決め、1年後の大正4年（1915年）に黒松内トンネルが完成し、現在に至るのです。それにしても、蒸気機関車が稲穂峠を越えていたとは本当に驚きました。

平成28年6月26日

—参照—

「北海道文学散歩Ⅱ道央編」（木原道彦 著／立岡書房／1982年10月1日発行）

「北海道 地図の中の鉄路」（堀淳一 著／発行所 亜細亜社／2014年12月4日発行）

BOOK

寿都・島牧・黒松内 ～南後志に生きる～ 山本竜也(やまもとたつや)著

著者である山本竜也氏が約1年間にわたって、南後志の3町村に縁を持つ60歳から98歳の人たちに会い、それぞれの歴史を聞き、個人史をまとめた一冊である。山本氏は2014年に「寿都五十話 ニシン・鉄道・鉱山そして人々の記憶」を著作・発行しているが、2作目となる本書では寿都を中心とする南後志の人々をフィルターに地域の近・現代史を綴った作品となっている。「みんなの口からはさまざまな話題が飛び出した。話題の中には、戊辰戦争の折に、箱館で新政府軍が幕府軍の残党を探しているのを祖母が見たと言う人あれば、その戦争に敗れたのち開拓に入った会津藩士の子孫という人もある。～中略～この地に生まれ歳をかさねた人、移住してきた人、都会へ出ていった人など、53人の歴史をこの本にまとめた。ちいさな地域であっても、多種多様な物語が集まった。（「はじめに」より）」
本体価格 2,000 円＋税 ※町内では本書の販売取扱を NPO 法人ひまわりが行っている。

作家のプロフィール

1976年 大阪府生れ、北海道大学大学院修士課程修了(雪氷学)。2003年に気象庁入庁後、東北・北海道を移り住み、2006年～2008年まで寿都測候所に勤務。

現在は、札幌市に在住。著書に「北海道空襲犠牲者名簿」、「東海丸の再期 乗船員と町民が語る寿都空襲」「写真アルバム小樽・後志の昭和」など。雑誌「BYWAY 後志」に毎月寄稿している。



Beech Boys ～ブナ里少年期紹介～

※ブナは英語で Beech(ビーチ)

安藤 昭 (あんどう あきら) さん

1928 年 1 月 22 日生まれ 88 歳 白井川在住

Q. 子供のころはどこに住んでいましたか？

A. 私は赤井川生まれの赤井川育ちです。孫爺さんが愛知県から赤井川に入植しましたが、お金儲けが上手だったようで、当時は少なかった養鶏をはじめ、卵を販売して日銭を稼いだようです。また、ごぼうの種が不足していた愛知県に、ごぼうの種を高値で販売していたということです。私の家は、赤井川地区集会所のある三又路辺りにあり、親爺は製材所や精米所などを営んでいて、道の駅の向かい側にも商店を出していました。

Q. 安藤さんは子供の頃、どんな子供でしたか？

A. 小さい時はけっこう丈夫でできない子だったかと、足も速かったし、勉強もそこそこできたんでないかな。

Q. 子供の頃、どんな職業に就きたいと思いましたか？

A. 平凡なサラリーマンに憧れていたねー。学校では役場、鉄道員、土木の仕事に就く親を持つ子が裕福に見えたので月給取りになりたかった。私は、昭和 17 年の春に国民学校を卒業して長万部で機関士になろうと思い、試験を受けたんです。しかし、その頃は体が弱かったので試験に受からなかった。実は、17 歳～23 歳頃まで結核にかかっていて医者通いをしていたからね、若い時に病を患ったということは人生を考える上で大きな出来事になったと思います。

Q. 生まれ育った赤井川・白井川で懐かしい風景や「ここが変わった」というところがありますか？

A. 国道 5 号線沿いにはもともと家が並んでいたけど、今は、家のがすっかり少なくなったねー。それと、昭和 10 年頃まで今井さん宅の向かいに映画館があったことを思い出します。建物が老朽化して劇場内の天井から雨漏りしていたので傘を差しながら映画を見ましたよ(笑)。映画館は終戦後になって三上さん宅の向かい側に移転したんだ。

Q. 黒松内の子供たちに一言メッセージをお願いします。

A. テレビのニュースであるような「いじめ」をなくして、みんな仲良くしてほしいなー

編集長からひとこと。。

安藤昭さんが長年、消防団長として地域に貢献したことが認められ、瑞宝単光章を受章されたことについて「おめでとうございませう」と申し上げたい。現役時代に農業を営んでいた安藤さん、旧熱帯村出身者の中で村の歴史をよく知る人物の一人である。「～寿都・島牧・黒松内～南後志に生きる」(山本竜也著)、最終章第 50 話「数頭の牛がいれば食ってけた」では、安藤さんの個人史が紹介されているので是非とも読んでいただきたい。夏には、札幌とアメリカに暮らす 3 人の娘さんや孫、曾孫など家族が洞爺湖に集まり、ホテルでお祝いをするという計画を楽しそうに話してくれた。人間は弱い動物であるがゆえ、脳が発達した不思議な哺乳類である。先人が蓄積した知恵、現代に至るまでの歴史を学び、未来を考え、行動する。これらのプロセスは、脳が発達することで生き延びてきた人間にとって一番大切なことかもしれないとインタビュー後、そんな考えが浮かんだ。



DJ マミの音楽質 水曜日のカンパネラ ★★★

水曜日のカンパネラ、女一人男二人の音楽ユニット。

ジャンルで言えばヒップホップ、ハウス、ラップその他諸々が詰まっている。

桃太郎の鬼退治を不思議なラップで歌う「桃太郎」がスマッシュヒット。

昨年、毎年石狩湾で開催される日本三大ロックフェスティバルの一つライジングサン・ロックフェスティバルに登場し、「桃太郎」で聴衆を水曜日のカンパネラ中毒症におとし入れた。

カンパネラの曲のタイトルは「桃太郎」をはじめ、「ジャンヌダルク」「シャー」「千利休」全部こんな感じで、タイトルを考えるのが面倒くさいのではとも思える。インタビューで「曲のタイトルに特に思い入れは無い」と明言しています。最新のアルバムタイトルは「UMA」。

収められた曲のタイトルは「チュパカブラ」「ツチノコ」「イエティ」他、そうです UMA とは未確認生命体のことであります。まったくぐべない適当ぶりですが、音には一切の妥協なし！お薦めです。

これらの曲は YOU TUBE で聴くことができますので、まずは先入観なしで是非とも聴いてみてくださいね。

菅原正史

★B2 ニュースレター3 年目を迎えました！ご希望の方へ 1 号～6 号までのバックナンバーをお送りします。

電話または E メールでお問い合わせください。黒松内町観光協会 携帯(本間)：090-5229-2056 E-mail bunasatortourism@gmail.com

発行人：ブナ北限の里ツーリズム 発行日：平成 28 年 7 月 10 日 次号発行予定は 2016 年 10 月末 ブナ北限の里ツーリズム事務局 TEL&FAX:0136-72-3597